

金沢大学大学院法務研究科  
2010年度「法理学」小テスト  
6月4日2限実施/ 出題: 足立英彦  
解答・解説(30点満点)

1. つぎの命題の真理表を書け。(各2点)

(a)  $P \wedge \neg P$

解答

P	$\neg P$	$P \wedge \neg P$
T	F	F
F	T	F

(b)  $(P \rightarrow Q) \rightarrow (P \vee R \rightarrow Q)$

P	Q	R	$P \rightarrow Q$	$P \vee R$	$P \vee R \rightarrow Q$	$(P \rightarrow Q) \rightarrow (P \vee R \rightarrow Q)$
T	T	T	T	T	T	T
T	T	F	T	T	T	T
T	F	T	F	T	F	T
T	F	F	F	T	F	T
F	T	T	T	T	T	T
F	T	F	T	F	T	T
F	F	T	T	T	F	F
F	F	F	T	F	T	T

2. 次の語句をそれぞれ1～3行で説明せよ。(各2点)

(a) 命題

解答 真偽が定まっているもの。

(b) 授權規範

解答 名宛人に対して、一般的法規範や個別的法規範を制定、変更、廃止する能力を与える規範。

(c) 自由

解答 作為と不作為が許されている法的位置。

3. 規範と規範文を区別しなければならない理由を説明せよ。(3点)

解答 一つの規範文から様々な意味を、すなわち規範を読み取ることができ、また、一つの規範を様々な規範文で、また場合によっては、文以外の他の表現(交通標識など)で表現することができるから。

解説 片方だけの回答には2点与えた。

4. つぎの命題を記号化せよ。ただし、「 $\sim$ はリンゴである」をA、「 $\sim$ は甘い」をSとする。

(各1点)

(a)「リンゴは甘い。」

解答  $\forall x(Ax \rightarrow Sx)$  または  $\neg \exists x(Ax \wedge \neg Sx)$

(b)「甘くないリンゴはない。」

解答 (a) と同じ。

(c)「すべてのリンゴが甘い、というわけではない。」

解答  $\neg \forall x(Ax \rightarrow Sx)$  または  $\exists x(Ax \wedge \neg Sx)$

(d)「あるリンゴは甘くない。」

解答 (c) と同じ。

5. 「Vを行うことを禁じる」という規範が真(有効)である場合、以下の規範は、「真」、「偽」、「真又は偽」のいずれであるか。(各1点)

(a)「Vを行うことを命じる。」

解答 偽

解説 FV と OV は互いに反対の関係にあるので、一方が真なら他方は偽。

(b)「Vを行うことを許す。」

解答 偽

解説 FV と PV は互いに矛盾の関係にあるので、一方が真なら他方は偽。

(c)「Vを行わないことを許す。」

解答 真

解説 FV と P $\neg$ V は大小の関係にあるので、大(FV)が真なら小(P $\neg$ V)は真。

6. 同時に真(有効)ではありえない二つの条件つきルールを挙げ(ただし、授業で紹介した例を除く)、そのような二つのルールが定められている場合の考えうる対処法をすべて、例に即して具体的に説明しなさい。(5点)

解答例 (1)「映画の上映中は映画館を出てはいけない」というルールと、(2)「火災が発生したら映画館を出なければならない」というルールは、同時に真ではありえない。なぜなら、映画上映中に火災が発生した場合、(1)は「映画館を出る」ことを禁止し、(2)は「映画館を出る」ことを命じているが、命令と禁止は互いに反対の関係にあり、同時に真ではありえないからである。このような二つのルールが定められている場合の考えうる対処法としては、(1)(2) どちらかのルールを無効とみなすこと、(1)のルールに「ただし、火災が発生した場合はこの限りにあらず」という例外を付け加えること、(2)のルールに「ただし、映画の上映中はこの限りにあらず」という例外を付け加えることが挙げられる。

解説 (1)(2)のどちらかを無効とみなすか、または、どちらかのルールに例外を付け加えればよい。すなわち対処法は4つあるが、すべてについて言及していなくても、最低限、どちらか片方を無効とみなすことと、どちらか片方に例外を付け加えることを説明していれば正解とした。無効とみなすことに言及していなければ1点減。

7. ある人 a がある物について物権を有するとき、その他の人はどのような法的位置にあるかを文で表現しなさい。(5点)

解答 その他の人は、a に対して、物権を行使すること(その物を利用すること)及び行使しないことを求める権利を有さず、並びに、物権を行使すること及び行使しないことを妨害しない義務を負う、という法的位置にある。

参考情報(6月17日現在)

<u>履修登録数</u>	<u>受験者数</u>	<u>平均点</u>
11	11	22.9

\* 30点1名、28点2名。

以上